

試験合格法についてひとこと

昭和41年度(1967年)卒業 元原燃輸送(株) 内野克彦

混迷の世を生き抜く為には、資格が重要な武器になります。
私は、試験合格法、合格体験記等約20冊読み、内野式勉強法をまとめました。

1. 問題は知識で解く(問題を見て、あ、知っている問題だ)
2. 過去に出た問題とその解答を覚える(出た問題は出る問題・出ていない問題は出ない問題)
☞ 過去問を読む
3. 完璧は不合格への一本道(出題範囲や出題パターンが存在、合格点がある)
4. 合格に必要な力(基礎力、応用力、制限時間内に合格点が取れる)
5. 中間目標を作る
6. 継続は成功への道(堅い決意と未来への情熱、プラス思考) ☞ 繰り返し・繰り返し
7. 出題レベルを探る(過去問)
8. 不必要な部分はひたすら削除
9. 時間との闘い(人の5倍のスピードを目指せ)
10. 情熱をかき立てる **好きこそ熱中の母**
11. 記憶力を強化する(大量に反復する、体系化とその意味付け、毎日やる、不要なことは覚えない)
☞ 一度に一歩ずつ登れば、高い山でも踏破できる。 ジョン・ワナメーカー
☞ 1に過去問、2に過去問、3, 4が無く5に過去問

私は上記の勉強法で核燃料取扱主任者、第1種放射線取扱主任者、宅建士、ISO主任審査員、輸送関係及び警備関係資格の全て、英検、ガイド試験等約30の資格を取得しました。第1種放射線取扱主任者と宅建士は約1か月の勉強で合格しましたので同じレベルだと思います。

使用テキストのおすすめ

第2種放射線取扱主任者

1. わかりやすい第2種放射線取扱主任者合格テキスト(弘文社)
2. 初級放射線(通商産業出版社)
3. 第2種放射線取扱主任者試験問題集(通商産業出版社)
4. 第2種放射線取扱主任者試験マスターノート(MEDICAL VIEW社)

第1種放射線取扱主任者

1. わかりやすい第1種放射線取扱主任者合格テキスト(弘文社)
2. 放射線概論(通商産業出版社)
3. 第1種放射線取扱主任者試験問題集(通商産業出版社)

4. 第1種放射線取扱主任者試験マスターノート (MEDICAL VIEW社)
5. 一発合格よくわかる第1種放射線取扱主任者 テキスト&問題集 (ナツメ社)

以上の順で勉強すること。

メインテキストは通商産業出版社が良く試験問題に対応している。第1種受験者の中には化学が不得意の者が多いが、この場合は高校の化学の参考書で関連するところだけ読む(化学式、中和、アボガド口数等)効果的なのは私が作成したプリント(法令条項および核種の出る順、計算式の解説、重要事項のまとめ等)です。

最近の傾向としてどのテキストにも書いていない問題が2~3問出題される。

(生物、液体シンチレーション、半導体検出器の取扱等)それで多くの受験生が自信を無くしてしまうが、皆ができない。また全科目60点以上取れば合格ですから気にしないことです。

核燃料取扱主任者試験は第3回目の試験でした。臨界の軍事機密が解除になって間がないのでテキストがありません。

1. 臨界関係は米国のTID-7016の英語文献を日本語にした。当時米国は日本に原子力発電を売り込むために、極秘情報・データが解除になり、原文の関連資料が入手可能になった。
2. 月刊誌「原子力工業」の核燃料関係の過去の記事全てを原研にいた同期の小平隆基さん(原研から原子力船事業団に異動)に図書館でコピーしていただいた。
3. 原子炉主任技術者試験の過去問の核燃料関係をすべてコピーした。
4. 「アクチニドの化学」と題する異常に分厚い本からの抜粋

上記資料をもとにテキストを自作しました。大変な作業でしたがそのおかげで内容はしっかり記憶されました。記憶する必要のある重要な法令等も自分なりにノートを作成すると、案外効率的に脳にインプットされるのでノート作成はお勧めの学習法だと思っています。

計算問題は当時、計算尺で計算するので早く計算できるように滑りを良くする為、ロー石のパウダーを振りかけた(頭の滑りがよくないのに) こともありました。

その後記憶装置の無い電卓が使用可能となり、現在は電卓持ち込み禁止ですべて手計算になった。理由はJCO事故の教訓から現場で暗算または手計算で判断しなければならないからとのこと。

試験科目は物理、化学、放射線、法令の4科目です。第1種放射線取扱主任者試験合格者は放射線の科目を免除され、また法令の1/4は輸送関係です。

今の受験者はテキストも十分に整備されていて受験の準備もしやすいです。

東工大の有富教授より2007年に「核燃料物質等の安全輸送の基礎」ERC出版 定価(2,300円+税)の執筆依頼があり私が前半分を書きました。

今でも、東工大「原子力道場」と呼ばれる大学院生向けの総合口座でテキストとして採用されているようです。このテキストは放射線の基礎が理解でき、輸送法令もバッチリです。

定年後、青森原燃テクノロジーセンター(日本原燃の学校)で核燃料取扱主任者、1種、2種の受験講師、また、むつ市役所主催(原子力企業への就職希望者)の2種の受験講師をしています。今まで約300名を合格させました。

むつ市の受講生は原子力を全く知りませんが、去年は合格率90%でした。

高校生、主婦、フリーターも合格しています。また半月の勉強で合格した者もいます。

内野式講師心得

1. 教育の原点はその科目を好きにさせることです。
2. 合格後のバラ色の姿をイメージさせると記憶力がアップします。
3. 人間は45分以上の緊張は持続できない。しかし、科目を変えれば疲れない。
4. 計算問題は点を取りやすいのでログとルートの手計算ができるようにすることです。
5. 量より質で集中して学習させる。
6. 右脳で考える訓練をさせる。例えば象を見たことが無い者に本1冊書いて説明してもよく理解されないが写真1枚見せれば理解される。計算の応用問題は必ずマンガを描かせる。
7. 脳に必要な栄養素はケトン体です。多く含むココナッツオイルを毎日大匙一杯コーヒーに入れるかパンにつけ摂取させる。認知症も治るそうです。**(頭の滑りが良くなります)**

現在青森には月に2～3回行っています。また昨年、木場の建築、土木、輸送をしている会社の子会社として私が専任宅建士で不動産会社を設立しました。この会社は順調に売り上げを上げています。

今年は私が派遣元責任者資格を取得しまして人材派遣会社設立を準備中です。資格には定年がありません。

良いテキストで短期集中的に合格に向かって健闘されんことを期待します。



杉原千畝記念館（リトアニア/カウナス）にて。杉原氏が使っていた机で記念撮影（2016.04.19）